

教員養成教育のカリキュラム・マネジメントに関する調査

この調査は 2009～2010 年度文部科学省高等教育局による先導的の大学改革推進委託事業「課程認定大学における評価団体と連携した教員養成に関するモデルカリキュラムの作成に関する調査研究」に基づいて行うものです。得られた結果は統計的に処理し、研究以外の目的に使用することはありません。また機関を特定し、評価・判定するためのものでもありません。

「大学における教員養成」の理念に則りながら、各大学・学部が置かれている様々な状況の中で、より良い教師を育てるためにいかなる創意工夫がなされているのか、あるいは様々な改革・改善の取り組みが成果を挙げたり、逆に妨げられたりする要因を把握することで、「教員養成教育における質保証」に係る多様な価値観を明らかにしたいと考えております。この旨ご賢察頂き、なにとぞご協力頂きますようお願い申し上げます。

責任者：「教員養成教育の適格判定に関する研究プロジェクト」委員長 坂井俊樹
(東京学芸大学教員養成カリキュラム開発センター長)

回答にあたってのお願い

(1) 次頁以降の設問にご回答頂き、2010年9月10日(金)までに郵便もしくは電子メールにてご返送下さい。なお本調査票は下記のサイトからダウンロードすることも可能です。

https://www.u-gakugei.ac.jp/~currict/about/accredit_pj.html

(2) 後日、ご回答に係る確認等のために、こちらからご連絡を差し上げる場合がございます。お手数ですが、ご回答頂いた方のお名前(教員・事務職員)やご連絡先等をお知らせ下さい

(3) 本調査の質問事項に関連して、貴学の教員養成教育の取り組みが判る資料、及び学生向けに配布している手引等の資料をご恵贈頂ければ幸いです(返信用封筒にご同封下さい)。

.....
大学名： _____

回答者1(教員)お名前： _____

ご所属・職名： _____

電話番号： _____ E-Mail： _____

回答者2(職員)お名前： _____

ご所属・職名： _____

電話番号： _____ E-Mail： _____

【回答の送付先・照会先】

東京学芸大学教員養成カリキュラム開発センター (担当：岩田康之)
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL/FAX 042-329-7779 E-Mail: iwatay@u-gakugei.ac.jp

【Ⅰ】貴学の組織等について伺います。

1. 設置者： ①国立 ②公立 ③私立
2. 機関： (下記の中から最も良く当てはまるものをひとつ選んで下さい。)
- ①教員養成系大学・学部
→いわゆる「新課程」を A. 有している B. 有していない
- ②非教員養成系の課程認定大学・学部
→いわゆる「教職課程センター」的組織を A. 有している B. 有していない
3. 学部・学科等の系統(複数回答可)：
- ①人文科学 ②社会科学 ③保育・子ども ④教育学
⑤保健・看護 ⑥理工 ⑦農水産 ⑧生活・芸術・総合
⑨その他 ()
4. 教員数：下記の①～②の全てについて、直近の課程認定に基づいてお答え下さい。
- ①専任教員：()名、うち「教職に関する科目」を担当する教員()名
②非常勤教員：()名、うち「教職に関する科目」を担当する教員()名
5. 下記①及び②のような方法に基づいて採用している教員の概数をお知らせ下さい。
- ①教育委員会との人事交流協定に基づいて期限付採用した専任教員 ()名
②校長・指導主事等の経験を有する退職教員を特任や嘱託として採用 ()名

【Ⅱ】貴学で課程認定を受けている教員免許状の種類等について伺います。

1. 課程認定を受けている免許状にチェックを入れ、必要に応じて教科名を全て記入して下さい。

種類		教科名(中学校・高等学校のみ)	
<input type="checkbox"/> 小学校教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修	中学校教諭	高等学校教諭
<input type="checkbox"/> 中学校教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修		
<input type="checkbox"/> 高等学校教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 専修		
<input type="checkbox"/> 幼稚園教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修		
<input type="checkbox"/> 特別支援学校教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修		
<input type="checkbox"/> 養護教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修		
<input type="checkbox"/> 栄養教諭	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 専修		

2. 昨年度(2009)の実績に基づき、免許状授与に係る一括申請の件数ならびに申請者の実数を、校種・教科等を合算し「一種免許状」「二種免許状」「専修免許状」ごとにお示し下さい(概数で結構です)。

	一種免許状	二種免許状	専修免許状
申請件数(件)	件	件	件
申請者数(人)	人	人	人

【Ⅲ】貴学における教員養成教育の改善の取り組みについて伺います。

1. 教員養成教育を改善する方法は各大学・学部の置かれた状況によって様々かと思いますが、例えば下記の事項のそれぞれについて、貴学ではどのような取り組みの状況にあるかを教えて下さい。

	既の実施 している	試験的に実 施している	実施を検討 している	実施して いない
1) アドミッション・ポリシーの策定と共有化	4	3	2	1
2) カリキュラム・ポリシーの策定と共有化	4	3	2	1
3) ディプロマ・ポリシーの策定と共有化	4	3	2	1
4) いわゆる「卒業時の達成目標」の策定と共有化	4	3	2	1
5) 講義・演習等の成績評価における評点基準の統一化	4	3	2	1
6) 入学前教育における教職課程履修ガイダンスの実施	4	3	2	1
7) 1年生を対象とする教職課程履修ガイダンスの実施	4	3	2	1
8) 教員免許の取得方法を解説した学生用ハンドブックの作成	4	3	2	1
9) 教育実習の履修方法を解説した学生用ハンドブックの作成	4	3	2	1
10) 教育委員会と連携した現職経験を有する教員の確保	4	3	2	1
11) 学外機関と連携した体験実習(含ボランティア)先の確保	4	3	2	1
12) 学外体験実習(含ボランティア)受入機関による学生評価の実施	4	3	2	1
13) 大学・学部等の外部評価委員による学生評価の実施	4	3	2	1
14) 在学期間中における優秀学生の顕彰制度等の実施	4	3	2	1
15) 同窓会組織との連携強化	4	3	2	1

2. 貴学の「教員養成カリキュラム委員会」(2006年7月中教審答申)の設置状況について、最も良く当てはまるものをひとつ選び○を付して下さい。

- ①既存の組織で充分に対応可能であり、既に活動を行っている。
- ②既存の組織を再編統合し、新たに設置することになっている(ないしは設置した)。
- ③新規に設置する予定である(ないしは既に新規に設置した)。
- ④当面、設置の予定はなく具体化していない。

3. 2. で①～③に回答した機関に伺います。その組織の概要についてお知らせ下さい。

名称： ()

責任者(ex.教務委員長)： ()

構成員： ()名

構成員の範囲(例・各学科から1名、等)

()

4. 3. の組織が扱う業務について当てはまるもの全てに○をつけて下さい（複数回答可）。

- ①「教職に関する科目」についてのカリキュラムの策定および管理
- ②「教科に関する科目」についてのカリキュラムの策定および管理
- ③貴学の教員養成カリキュラム全般についての策定および管理
- ④教職履修者（教員免許状取得希望者）の履修指導（学士課程学生）
- ⑤教職履修者（教員免許状取得希望者）の履修指導（大学院学生）
- ⑥教育実践・教育実習・フィールド系科目のコーディネート
- ⑦「教職実践演習」の企画・運営
- ⑧「履修カルテ」の策定・運営
- ⑨教育委員会との連携協力体制の構築
- ⑩その他（以下に具体的にお書き下さい。）



5. 再び全ての機関に伺います。教員養成教育に係る授業科目や授業方法の改善のうち、例えば次のような改善策について、貴学ではどのような取り組みの状況にあるかを教えて下さい。

	既の実施 している	試験的に実 施している	実施を検討 している	実施して いない
1) 科目の段階性・系統性に配慮した時間割配置の見直し	4	3	2	1
2) クラス指定等の方法による少人数指導の実施	4	3	2	1
3) 教職系・教科専門系教員の協働による授業科目の設置	4	3	2	1
4) 研究者教員と現職経験を有する教員の協働による授業科目の設置	4	3	2	1
5) 教育実習・介護等体験 <u>以外の</u> 学外体験科目の設置	4	3	2	1
6) 教育実習・介護等体験 <u>以外の</u> 学外体験科目の必修化	4	3	2	1
7) 参観を中心とした1・2年生対象の学校体験実習の実施	4	3	2	1
8) 介護等体験における成績評価の導入	4	3	2	1
9) GPA を活用した教職課程への履修制限の実施	4	3	2	1
10) GPA を活用した教育実習への履修制限の実施	4	3	2	1
11) シラバスの記載内容・項目の統一化	4	3	2	1
12) 教員養成教育に沿った授業目標のシラバス上での明示	4	3	2	1
13) いわゆる「教育実習セメスター期」の設置	4	3	2	1
14) 取得できる教員免許状の校種・教科等の種類の制限	4	3	2	1
15) 学内教員相互による恒常的な授業公開の実施	4	3	2	1
16) 学内教員相互による恒常的な授業検討会の実施	4	3	2	1
17) 学外連携機関による大学授業の視察の実施	4	3	2	1
18) オープンキャンパスにおける大学授業の公開、もしくは教員免許取得に係る説明会の実施	4	3	2	1
19) 外部評価委員による大学授業や教育実習の視察の実施	4	3	2	1
20) 外部評価委員による教職課程カリキュラムの評価	4	3	2	1

【IV】貴学の教員養成教育における「卒業時の達成目標」について伺います。

※参考になる資料があれば添付して頂けると助かります。

1. 貴学では、教員養成教育に係る卒業時の達成目標（いわゆる「教員養成スタンダード」）を策定していますか。

- ①既に策定し運用している
- ②試験的に策定し運用を行っている
- ③策定に向けて準備段階にある
- ④未だ策定に着手していない

2. 1. で①～③と回答した機関に伺います。その「達成目標」の総称（名称）を教えてください。

[]

3. 1. で①～③に回答した機関に伺います。その「達成目標」を、学生の教職への育ちを評価する指標として活用していますか。

- ①「達成目標」をそのまま「評価項目」に置き換えて活用している
- ②「達成目標」から個々の「評価項目」を別途作成して活用している
- ③「達成目標」はあくまでも「目標」であり、評価には利用していない
- ④その他（ ）

4. 3. で①～②に回答した機関に伺います。評価としての活用方法の詳細（検討中のものも含めて）を、下記に基づいて教えてください。

評価の対象学年	①4年生のみを対象 ②全学年を対象 ③特定の学年のみを対象（ ）
実施時期	①特定の時期に実施 ②不定期に実施
主な評価主体	①学生の自己評価 ②大学の教員による評価 ③教育実習校の教員による評価 ④その他（ ）
項目数	（1回あたりの評価で用いる項目数を教えてください）
評価項目の概要	（例えば「授業実践力」「対人関係力」「自己深化力」等の評価項目やその考え方等を教えてください）

【V】「教職実践演習」と「学修履歴（履修カルテ）の管理」等について伺います。

1. 貴学における「教職実践演習」への対応状況について、最も良く当てはまるものをひとつ選び○を付して下さい。

- ①既に同内容の科目を設置しており、著しい改訂なく対応できる予定である。
- ②既存の科目を再編統合することによって対応できる予定である。
- ③新規に科目を開設して対応する予定である。
- ④その他（→)

2. 「教職実践演習」の規模及び実質的な授業を担う実施単位について詳細に教えて下さい。

[]

3. 「教職実践演習」における「教科内容系教員」と「教職系教員」との連携・協働について貴学が独自に工夫を凝らしている点を教えて下さい。

[]

4. 貴学における教員免許取得希望者の「学修履歴（履修カルテ）の管理システム」について、最も良く当てはまるものをひとつ選び○を付して下さい

- ①既に策定し運用している
- ②試験運用あるいは部分的な運用を行っている
- ③策定に向けて準備段階にある
- ④未だ着手していない

5. 4. で①～③に回答した機関に伺います。その管理システムはどのようなものですか。

- ①民間業者に委託して作成した Web 上のシステム
- ②情報処理センター等、学内の専門部署に委託して作成した Web 上のシステム
- ③学内の教員を中心として作った Web 上のシステム
- ④紙媒体を中心としたポートフォリオ的システム
- ⑤その他（→)

6. 貴学で定める教職実践演習の履修要件（履修資格）を具体的に教えて下さい。

[]

【VI】 貴学の教員養成教育を支える FD の活動について伺います。

1. 教員養成教育に係る貴学での FD 研修会の開催状況について、最も良く当てはまるものをひとつ選んで○を付して下さい。

- ①年に1～2回程度 ②3～4ヶ月に1回程度 ③2ヶ月に1回程度
④月に1回程度 ⑤不定期 ⑥開催していない

2. 1. で①～⑤と回答した機関に伺います。教員養成教育に係って貴学が開催した FD 研修会の内容に当てはまるものを選んで下さい (複数回答可)。

- ①教員相互の授業公開を踏まえた授業検討会
②学生の授業評価に基づいた授業検討会
③GPA や意識調査など学生教育の成果に係るデータに基づいた現状分析
④教員採用試験の受験動向や合否状況等のデータに基づいた現状分析
⑤外部評価委員等の学外者による講演会や教員との懇談会
⑥その他 (→)

3. 教員養成教育の改善・改革を図るさいには、個々の学生に係る実証的なデータに基づいた議論が不可欠ですが、以下に掲げるデータの蓄積と活用の仕方について、貴学の状況を教えて下さい。

	十分に蓄積し活用している	蓄積はあるが活用は不十分	十分な蓄積が無い
1) 入学時点での基礎学力に係るデータ	3	2	1
2) 入試形態 (AO・推薦・一般等) と基礎学力の相関	3	2	1
3) GPA 得点やその経年変化	3	2	1
4) 学外でのボランティア体験活動等への参加状況	3	2	1
5) 学生の学習状況や講義の理解度に係るデータ	3	2	1
6) 学生による授業満足度評価	3	2	1
7) 授業以外の学生生活満足度	3	2	1
8) 教育実習 (いわゆる本実習) における評価 (素点等)	3	2	1
9) 教員採用試験の受験動向 (受験地・併願状況等)	3	2	1
10) 教員採用試験の合否状況	3	2	1
11) 臨時的任用状況 (常勤講師・時間講師・産休補助等)	3	2	1
12) 教員免許取得状況 (異教科・異校種の組み合わせ等)	3	2	1
13) 在学中の就学状況・教職志向と卒業後の進路の相関	3	2	1
14) 教員就職者 (卒業生) 対象の意見調査	3	2	1
15) 卒業生が就職した学校 (校長等) 対象の意見調査	3	2	1

4. 上記のほか、貴学が独自に収集・分析しているデータがあれば、その手法と活用法も含めて具体的に教えて下さい。

[]

【Ⅶ】教育実習（いわゆる「本実習」）の評価方法等について伺います

1. 貴学の教育実習の実習校として当てはまるものを選んで下さい（複数回答可）。
 - ①附属学校
 - ②同じ経営母体の学校
 - ③近隣の公立・私立校
 - ④学生の母校
2. 教育実習での学生の取り組みを実質的に評価する主体をひとつ選んで下さい。
 - ①実習校の指導教員
 - ②実習校の指導教員と大学の指導教員による合同評価
 - ③大学の指導教員
 - ④その他（ ）
3. 教育実習で用いる評価基準について、最も良く当てはまるものをひとつ選んで下さい。
 - ①大学側で作成した評価基準を用いている。
 - ②実習校と大学との協議を経た評価基準を用いている。
 - ③実習校が独自に定めている評価基準に従っている。
 - ④その他（ ）
4. 教育実習の評価にさいして、学生の自己評価はどの程度考慮されていますか。
 - ①評価の基礎資料として考慮している
 - ②参考程度に考慮している
 - ③ほとんど考慮していない
 - ④学生による自己評価は行っていない

【Ⅷ】いわゆる「教員採用試験対策」に係る取り組みについて伺います。

1. 教員採用試験の対策に係る以下のような事項について、貴学での取り組みの様子を教えてください。

	大学として 対応している	教員の有志が 対応している	特に対応は していない
1) 採用試験の日程等に係る情報の提供	3	2	1
2) 都道府県教委等による採用試験説明会の開催	3	2	1
3) 民間業者への委託による受験対策講座の開設	3	2	1
4) 民間業者への委託による模擬試験の実施	3	2	1
5) 一般教養試験対策に係る補習授業等の実施	3	2	1
6) 教職教養や専門科目に係る補習授業等の実施	3	2	1
7) 面接(個人・集団)試験対策に係る補習授業等の実施	3	2	1
8) 集団討論の対策に係る補習授業等の実施	3	2	1
9) 小論文試験の対策に係る補習授業等の実施	3	2	1
10) 模擬授業の対策に係る補習授業等の実施	3	2	1

2. 1に掲げた事項を実質的に担当しているのは、主にどのような教員ですか。当てはまるものを選んで○を付して下さい（複数回答可）。

- ①上記の業務の担当組織があり輪番制によって選出された教員が担当している。
- ②上記の業務の担当組織があり専従のスタッフが担当している。
- ③教育委員会との人事派遣交流協定により採用した教員が主に担当している。
- ④学内の研究者教員といわゆる「現職経験を有する教員」の有志が担当している。
- ⑤学内の研究者教員の有志が主に担当している。
- ⑥特定の教員が個人的に対応している。

（ご協力頂きありがとうございました。）